



年末の交通安全運動



期間：12月15日～12月31日

～運動の重点～

- 夕暮れ時・夜間の歩行者事故防止
- 高齢者の交通事故防止
- 自転車の安全利用とルールの厳守
- 飲酒運転等の悪質・危険な運転の根絶



薄暗くなると周りが見えにくくなり危険です！！

夜間は原則ハイビームを活用して下さい。

(下向きライトは約40m、上向きライトは約100m 照らすことができます。)



冬山遭難防止



県内の山岳は、厳しい雪山の様相となり、本格的な冬山シーズンを迎えます。

例年、バックカントリー遭難、悪天候による行動不能や道迷い遭難などが多発しています。

そこで、冬山遭難防止のために、次の5点に注意して、冬山を安全に楽しみましょう。

1 点目 余裕のある登山計画を立てましょう。

日程や登山コース、危険箇所などを十分検討し、体力や技術にあった計画を立てましょう。

2 点目 行動予定は家族等と共有しましょう。

電子申請などインターネット等を活用し、必ず事前に登山計画表を作成・提出して、家族や友人、職場等にも共有しておきましょう。

特に単独登山者は、下山できなくなった場合に、捜索の手掛かりになります、必ず届出をしましょう。

3 点目 単独登山は要注意。

単独登山は、遭難時に救助要請ができない場合があります。

また、行動中の様々な判断、対応を1人でします。大きなリスクを伴いますので注意が必要です。

4 点目 冬山は十分な日程と装備で望みましょう。

冬山は悪天候が続きます。

停滞を見越した余裕のある日程で、燃料や食料を十分準備しましょう、携帯電話の予備バッテリーの携行も重要です。

5 点目 リーダーの責任は重大です。

リーダーには、体力・技術に加え、豊富な経験と判断力が求められます。

パーティー全員の体調等を把握し、安全を最優先した判断を行わなければなりません。



長野県警察シンボルマスコット「ライボくん ライビィちゃん」

松本警察署

令和4年12月号

ビィいさん



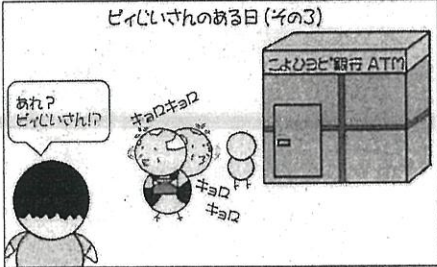
特殊詐欺被害防止キャラクター

「電話でお金詐欺」撃退通信

ビィいさんとサギ

還付金で
危機一髪の巻

ビィいさんのある日(その3)



電話でお金の話が出たら詐欺にご注意！！

松本警察署管内では、令和4年10月末までに23件の「電話でお金詐欺」被害が発生しています。

被害のきっかけは、そのほとんどが自宅の固定電話機に電話がかかってきたり携帯電話機にメールが送られて来ています。

犯人は、市役所、銀行、警察、病院など様々な職業を騙って電話を架けてきます。

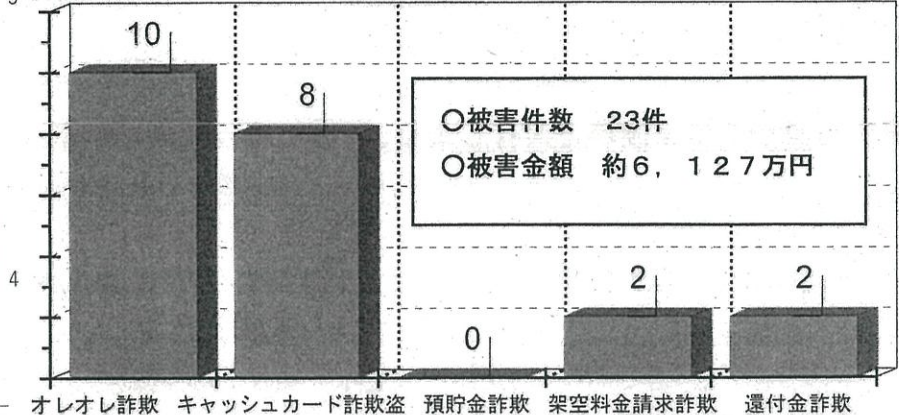
そして、「料金の未払い」や「還付金・払戻金」、「キャッシュカード」、「電子マネー」等といった「お金」に関する話をします。

つまりは、電話やメールでお金の話が出たら詐欺の危険性が非常に高いのです。

いずれの機関や企業も、電話やメール1本で、お金の請求をしたり返還手続きの案内をすることは絶対にありません。

電話でお金の話が出たら必ず詐欺を疑い、すぐに警察や周りの人に相談をして下さい。

表示文字列 令和4年 松本警察署管内 特殊詐欺被害手口内訳(10月末時点)



～在宅時留守番電話の設定～

留守番電話を自宅にいる時でも設定して、相手のメッセージを確認してから電話に出るようにし、どこの誰だか分からない状態で電話に出ることのないようにしましょう。

今、松本警察署管内が狙われています。

一人一人の意識を高めて地域の絆で詐欺被害を防ぎましょう。